

アーツ前橋 開館 10 周年記念展

# ニューホライズン 歴史から未来へ

2023 年 10 月 14 日 [土] → 2024 年 2 月 12 日 [月・祝]

アーツ前橋、白井屋ホテル、まえばしギャラリー、HOWZE ビル、スズラン前橋店、Maebashi Works



Arts Maebashi 10th Anniversary Exhibition  
アーツ前橋 開館10周年記念展

New Horizon: ニュー  
Vision of ホライズン  
the Future 歴史から未来へ

2023.10.14 [Sat] —  
2024.2.12 [Mon, holiday]

Arts Maebashi and  
Various Facilities around the City  
アーツ前橋と前橋市中心市街地

## 変容する都市とアートをめぐる、ミュージアムの新たな挑戦。

群馬県前橋市のアーツ前橋は、前橋市中心市街地の商業施設を改修した公立美術館として 2013 年 10 月にオープンし、今年で 10 周年を迎えます。開館以来「創造的であること creative」「みんなで共有すること share」「対話的であること dialogues」の 3 つをコンセプトに、展覧会だけでなく多くの地域アートプロジェクトを実施してきました。

開館 10 周年を記念する本展では、そうした当館を拠点とする市民とアーティストの協働をさらに市街地へと拡充し、官民連携のアーバンデザインで整備された周辺の現代建築群や、再開発が待たれるアーケード街に、人工知能や AR (拡張現実) などテクノロジーを用いた作品、イマーシブな映像インスタレーション、次代を担う若手アーティストの滞在制作などを展開。当館の“次の 10 年”に向け、変容する都市におけるアートとミュージアムの新たな可能性を拓いていきます。

●展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展実行委員会事務局 (アーツ前橋)  
学芸担当 高橋/庭山  
●取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144  
PR 担当 酒井/石井 E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

●広報画像はこちらより  
ダウンロードください



特別館長・南條史生が自らディレクション。  
開催テーマは「ニューホライズン」。



アーツ前橋は今年10月26日でちょうど10周年を迎えます。アーツ前橋はこの10年にいろいろなことを経験し、多くの困難を乗り越えてきました。そして今、関係者一同、気概を新たに次の10年に向かって歩を進めたいという気持ちでいます。そこで10周年の記念展は、「ニューホライズン（新しい地平）」と名付けることにいたしました。この展覧会はアーツ前橋の館内の展覧会にとどまらず、街の中にも多数のアートを展開し、街と美術館を一体化する事を試みます。それは、この美術館が街とともに歩み、街とともに発展していこうという決意を表しています。今の時代は恐ろしい速さで変化しています。科学技術はバイオ技術からWeb3.0、そして人工知能や宇宙の再発見へと次々に新しい展開へ移っています。政治や外交もめまぐるしく変化し、戦争が勃発したかと思うと、地球環境の悪化が問題になり、人間はその生きる目標、哲学の転換をうながされているように思われます。そのような中で、我々は創造性を発揮し、生きる環境を見直していく必要があるでしょう。今、人々は、前橋の開発事業に注目しています。「白井屋ホテル」「まえばしギャラリー」など、アートと親和性の高い優れたデザインの建築が次々に誕生し、街の発展にはとても勢いがあります。本展ではユニークな海外作家や、新たな表現を切り拓く日本の若手作家達を紹介し、美術館としてもこれまでになかった挑戦を試みています。こうしてアーツ前橋は市民の創造性を刺激し、前橋の未来へと可能性を拓く展覧会を実現し、人々に希望と可能性の未来を提供していきたいと思ます。

(前橋市文化芸術戦略顧問・アーツ前橋特別館長)

南條 史生



南條史生……1972年慶應義塾大学経済学部、1977年文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。国際交流基金等を経て、2002年より森美術館立ち上げに参画、2006年11月から2019年まで館長、2020年より同館特別顧問、十和田市現代美術館総合アドバイザー、弘前れんが倉庫美術館特別館長補佐、2023年5月からアーツ前橋特別館長。1990年代末よりヴェニスビエンナーレ日本館を皮切りに、台北ビエンナーレ、横浜トリエンナーレ、シンガポールビエンナーレ、茨城県北芸術祭、ホノルルビエンナーレ、北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs等の国際展で総合ディレクターを歴任。著書として『アートを生きる』（角川書店、2012年）等



[参加作家と会場 - アーツ前橋]

「鑑賞」から「体験」へ。現代アートの巨匠と新鋭の共演。

本展のメイン会場となるアーツ前橋では、6つのギャラリーをゆったり使い18組のアーティストの作品を展示。光を駆使した壮大なアートワークで知られるジェームズ・タレルや、人工知能による空間デザインで世界的な注目を集める新鋭レフィーク・アナドールなど、現代アートの開拓者たちの作品をご紹介します。



レフィーク・アナドール

《Living Paintings Immersive Editions: Artificial Realities: Winds of LA / Pacific Ocean / California Landscapes.》 撮影: Joshua White Courtesy Jeffrey Deitch, New York and Los Angeles.



蔡國強《Last Carnival》 所蔵: Shintaro Akatsu Collection, Tokyo



オラファー・エリアソン《Quadruple suncooker lamp》 撮影: ©Nao Tsuda  
©2006 Olafur Eliasson / Courtesy of Gallery Koyanagi / Taguchi Art Collection  
Installation view: Gallery Koyanagi, Tokyo, 2006



スプツニ子!《Tranceflore》 撮影: So Morimoto





山口 歴《MÖBIUS NO. 17》 撮影：浦野航気 ©2021 MEGURU YAMAGUCHI, GOLD WOOD ART WORKS

見どころ① | アーツ前橋ではアートファンなら誰もが知る巨匠たちに加え、日本のアートシーンで台頭する若手ペインターたちに注目。古典的な「絵画」領域を拡張するエネルギッシュな筆致が、鮮烈な絵画体験をもたらします。



五木田智央《Say It Isn't So》©Tomoo Gokita  
Courtesy of Taka Ishii Gallery 撮影：高橋健治



武田鉄平《絵画のための絵画 044》  
所蔵：Yusaku Maezawa Collection, Chiba Japan



横山奈美《Shape of Your Words -W.K.-》 撮影：若林勇人



川内理香子《sign of a bird》 撮影：Shintaro Yamanaka (Qsym!)





井田幸昌 《Cinderella》 ※参考作品 ©IDA Studio inc.



松山智一 《Turn Up Remember》



岡田菜美 《one view (No. 56)》 Courtesy of gallery UG

見どころ② | アーツ前橋は商業施設をリノベーションした美術館。改修前にはエスカレーターが設置されていた吹き抜けや回廊状の展示室など、ユニークな空間を活かした彫刻作品やインスタレーションを展開します。



ザドック・ベン=デイヴィッド 《People I Saw But Never Met》



袴田京太郎 《Family Sticks》 撮影：山本糾



[参加作家と会場 - 前橋市中心市街地]

**感性と創造力が「めぶく。」 周辺の新建築群も必見のアート。**

アーツ前橋の周辺では、前橋のまちづくりビジョン「めぶく。」に基づき、「白井屋ホテル」や「まえばしギャラリー」など、新進気鋭の建築家による施設のオープンが続いており、本展会期中もいくつかの建築が完成予定となっています。本展では彼・彼女らスター・アーキテクトによる建築表現にも着目し、アートを身近に感じさせてくれるその空間の魅力を、街歩きツアーや各施設との連携展示で紹介していきます。



《白井屋ホテル》 藤本壮介建築設計事務所 撮影：木暮伸也



《まえばしギャラリー》 平田晃久建築設計事務所 撮影：木暮伸也



岡本太郎《太陽の鐘》 設置場所のランドスケープデザインは藤本壮介建築設計事務所



永山祐子建築設計《マチナカテラス（前橋デザインプロジェクト）》



「403architecture [dajiba] / 椅子の場所は決めることができる」展示風景  
撮影：木暮伸也



新旧の建築と暮らしが交差する再開発エリアに多彩なアートを設置。  
 作品をめぐりながら変容する都市と最先端のアートを体感する。

見どころ③ | スター・アーキテクトの建築というだけでなく、良質なアートに触れられるスポットとしても注目を集める「白井屋ホテル」と「まえばしガレリア」。ともに本展開催にあわせた展示作品が追加・公開されます。



蜷川実花 《残照/Eternity in a Moment》 ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



WOW 《Refraction》

見どころ④—HOWZE | 入口にある彫刻の形状から「ゲーチョキパービル」と呼ばれる繁華街の7階建ビル。長らく空きビルでしたが本展で3フロアを特設会場として活用。アートによる賑わい創出の拠点化を目指します。



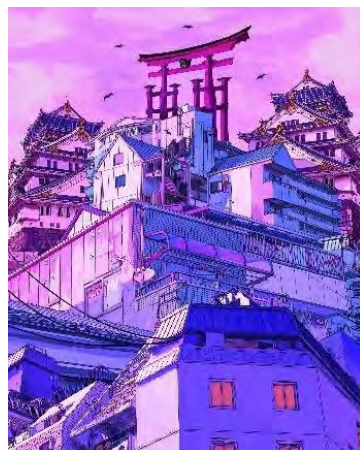
WOW 《Viewpoints - Light bulb》



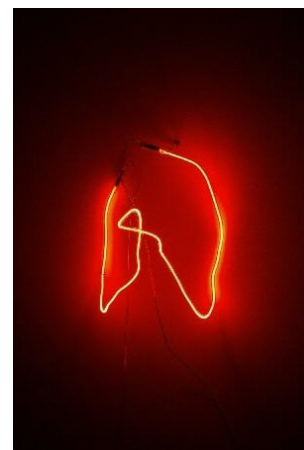
蜷川実花の作品 ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



ハシグチリントロウ 《even destruction》



マッド・ドッグ・ジョーンズ  
 《Dream Castle》



川内理香子 《organ》  
 撮影：Keita Otsuka ©Rikako Kawauchi  
 Courtesy of the artist and WAITINGROOM



見どころ⑤ | 4組のアーティストが「中央通り商店街」を起点に、アーケード街を活動拠点とする地元クリエイターや、老舗の百貨店とアートプロジェクトを協働。街とアートが互いの可能性を引き出していきます。



アンドリュー・ピンクリー 《Stone Cloud》



木原共 《Future Collider》

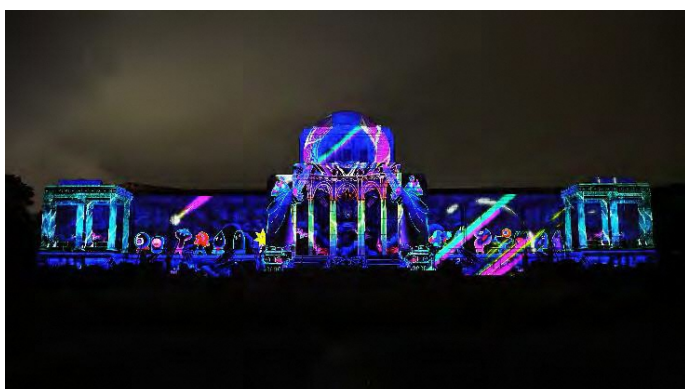


マームとジブシー 《Light house》 撮影：岡本尚文



関口光太郎 《SUN TOWER2020/MAQUETTE》

見どころ⑥ | プロジェクションマッピングの第一人者・石多未知行がプロデュースし、国際大会で活躍するアジアのトップ映像クリエイターチームをタイ、インドネシア、マカオから招聘。10/27（金）、10/28（土）、10/29（日）の3日間、群馬県庁昭和庁舎の前面を使った大規模なプロジェクションマッピングイベントを実施します。



《1minute Projection Mapping Competition 2022》



## [イベントプログラム]

### ”この街の過去と未来“をともに考え・とものつくる10のプログラム。

本展では未来の街づくりを担う若者や子どもたちに創造的な学びの機会をひらきます。前橋生まれの演劇作家・藤田貴大が主宰する劇団「マームとジプシー」、欧州で注目される新鋭のメディアアーティスト木原共、ガムテープと新聞紙によるユニークな彫刻活動で知られる関口光太郎らが、前橋の街を舞台に地域の人々との共同制作やワークショップをひらきます。



藤田貴大 撮影：井上佐由紀



村田峰紀《Neck Live》



関口光太郎《大人魚姫の城》



木原共 + Playfool《Deviation Game》撮影：Aya Kawachi

#### 01- プロジェクションマッピング《A Horizontal Line》

日時：10/27 [金]、10/28 [土]、10/29 [日] 時間=19:00~21:00

会場：群馬県庁昭和庁舎（群馬県前橋市大手町1丁目1-1）

アーティスト：デサイドキット、ザ・フォックス・ザ・フォルクス、ランペイジズ・プロダクション（プロデューサー：石多未知知）

#### 02- マームとジプシー演劇公演《瞬く暇のあいだに漂う》

日時：10/28 [土]、10/29 [日]、12/23 [土] 時間=13:00~14:00（開場 12:30）

料金：2,000円 \*事前申込・別途チケット必要

日時：12/24 [日] 時間=16:30~（開場 16:00）

料金：3,000円 \*事前申込・別途チケット必要

会場：スズラン前橋店 新館3階

#### 03- 村田峰紀 路上パフォーマンス《Neck Live》

日時：10/14 [土]、11/3 [金祝]、11/4 [土]、11/5 [日]

会場：オリオン通り商店街南側入口（時間=14:00~17:00）

#### 04- アーツ前橋×良品計画1 Dayワークショップ《MUJI for Public Space》

日時・会場：11/23 [木・祝] 10:00~17:00 アーツ前橋（定員25名）

講師：元木大輔（DDAA/DDAA LAB 代表）

#### 05- 木原共 ARワークショップ《Future Collider》

日時・会場：11/25 [土] 14:00~17:00 アーツ前橋（定員20名）

#### 06- 石多未知知 映像ワークショップ《A horizontal line》

実施日：1/20（土） 会場：アーツ前橋

#### 07- 関口光太郎 公開制作《辻辻モンスターズ》

日時・会場：11/11 [土]、11/25 [土] 13:30~00:00 中央通り商店街（各回定員15名）

#### 08- 南條史生特別館長のナイトミュージアムツアー

日時：12/1 [金]、1/12 [金] 18:00~19:00 \*各回定員20名

#### 09- キュレーターによる街なか作品解説ツアー

日時：開催期間中の隔週日曜 11:00~12:30（10/22、11/5、11/19、12/3、12/17、1/7、1/21、2/4）\*各回定員20名

#### 10- 周辺の現代建築と白井屋ホテルのアートをめぐるツアー

日時：開催期間中の隔週火曜 13:00~14:00（10/24、11/7、11/21、12/5、12/19、1/16、1/30）\*各回定員20名

※上記の会場・実施日は変更になる場合があります。また、この他にもアーティストによるトークや、観賞交流会等を随時企画・実施していきます。更新情報はアーツ前橋のホームページでご確認ください。



## [開催概要]



Arts Maebashi 10th Anniversary Exhibition  
アーツ前橋 開館10周年記念展

# New Horizon: Vision of the Future ニューホライズン 歴史から未来へ

2023.10.14 [Sat] —  
2024.2.12 [Mon, holiday]

展覧会名 | アーツ前橋 開館 10 周年記念展「ニューホライズン 歴史から未来へ」

会場 | アーツ前橋と前橋市中心市街地

会期 | 2023 年 10 月 14 日 [土] - 2024 年 2 月 12 日 [月・祝]

開館時間 | 午前 10 時～午後 6 時 (入館は午後 5 時 30 分まで)

休館日 | 水曜日 (年末年始の休館は 12/27 [水] ~1/4 [木])

入館料 | 一般=1,500 円 / 学生・65 歳以上・団体 (10 名以上) =1,000 円 / 高校生以下=無料

- \* 障がい者手帳等をお持ちの方と介護者 1 名は無料。
- \* 第 2・第 4 火曜日は大学生・専門学校生・短大生無料。
- \* 開館記念日の 10/26 [木] は入場無料。

出品作家 | アンドリュー・ピンクリー、石多未知行/デサイドキット/ザ・フォックス、ザ・フォルクス/ランペイジズ・プロダクション、井田幸昌、岡田菜美、オラファー・エリアソン、川内理香子、木原共、五木田智央、蔡國強、ザドック・ベン=デイヴィッド、ジェームズ・タレル、スプツニ子!、関口光太郎、武田鉄平、蜷川実花、袴田京太郎、ハシグチリントロウ、ビル・ヴィオラ、マッド・ドッグ・ジョーンズ、マームとジプシー、松山智一、村田峰紀、横山奈美、403architecture [dajiba]、山口歴、レフィーク・アナドール、WOW

主催 | New Horizon 展実行委員会、前橋市

助成 | ぐんま芸術文化創造事業、(一財) ぐんま食と歴史文化財団

芸術監督 | 南條史生 (実行委員長・アーツ前橋特別館長・前橋市文化芸術戦略顧問)

特別協力 | Shintaro Akatsu Collection、タグチアートコレクション、タグチ現代芸術基金、アート・オフィス・シオバラ、合同会社マーズ、白井屋ホテル、まえばしギャラリー、スズラン前橋店

アートディレクター | 上西祐理 (北極 co., ltd.)

キュレーター | 宮本武典、有馬恵子、辻瑞生、高橋由佳

プロジェクトサポート | 藤原羽田合同会社、矢内建築計画一級建築事務所

協力 | 前橋中心商店街協同組合、前橋商工会議所、(公財) 前橋観光コンベンション協会、(公財) 前橋市まちづくり公社

後援 | 群馬県、上毛新聞、群馬テレビ、エフエム群馬、まえばし CITY エフエム





WOW 《Viewpoints》 2022

**前橋市をアートのあふれる街へ！**  
ふるさと納税のガバメントクラウドファンディングに挑戦中。

**受付締め切りを 10/25 [水] まで延長いたしました。**

本展開催にあたり、アーツ前橋ではじめて「ふるさとチョイス」のクラウドファンディングに挑戦し、「アートのあふれる街・前橋」を皆様と一緒につくっていきたくと考えています。

トップクリエイターの作品を地域の皆さまに届けることはもちろん、前橋以外の都市でも参照できる「アートによる地域再生」の事例にすべく、美術館スタッフ一同、使命感をもって取り組んで参ります。最先端のアートで街を彩るアーツ前橋 開館 10 周年記念展「ニューホライズン 歴史から未来へ」へのあたたかいご支援を、何卒よろしく願いいたします。

●詳細は右記の QR コードよりご覧ください→



**開催情報はアーツ前橋ホームページにて随時更新・公開していきます。**

<https://www.artsmaebashi.jp>

●展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展実行委員会事務局（アーツ前橋）  
学芸担当 高橋/庭山

●取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144  
PR担当 酒井/石井 E-mail: [artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp](mailto:artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp)

●広報画像はこちらより  
ダウンロードください





# 広報用画像（メインビジュアル）

【1】

New Horizon:  
Vision of  
the Future  
ニュー  
ホライズン  
歴史から未来へ

2023.10.14 [Sat] —  
2024.2.12 [Mon, holiday]

Arts Maebashi and  
various facilities around  
downtown Maebashi  
アーツ前橋と前橋市中心市街地

Andrew DRABLEY, EGITA Michiyuki, Daisuke, The Fox, The Flower,  
Suzuyuki Production, Ltd., Ken Yamahara, OKADA Haru, Gaku ISHIGURO,  
KAWAIUCHI Rika, KIMURA Tomo, SEKITA Tomoko, OGI Goro-Daigo,  
Zaka, ERIK GARPEL, James TURRELL, Takahiko SENOBUCHI & Kiteki,  
TAKEDA Teppei, INAGAKIWA Shun, YAMAGAMOTO Kiyohito,  
HASEGAWA LITENING, EN WOLFA MAD DOU, JORISL VLAEKER, DYPKX,  
MASUNAGA Tomoyuki, MURATA Misaki, YOKOYAMA Nori,  
KOSAKI Architecture (Japan), YAMAGUCHI Meguro, Reki ANADOL, WCV

アーツ前橋  
ARTS MAEBASHI | [www.artsmaebashi.jp](http://www.artsmaebashi.jp)



【2】



New Horizon: ニュー  
Vision of ホライズン  
the Future 歴史から未来へ

【3】



Arts Maebashi 10th Anniversary Exhibition  
アーツ前橋 開館10周年記念展

New Horizon: ニュー  
Vision of ホライズン  
the Future 歴史から未来へ

2023.10.14 [Sat] —  
2024.2.12 [Mon, holiday]  
Arts Maebashi and  
Various Facilities around the City  
アーツ前橋と前橋市中心市街地

【※本ページのメインビジュアルは、以下リンク先からダウンロードして、ご自由にご利用いただけます（申込不要）】

● <https://www.artsmaebashi.jp/?cat=28>





## 広報用画像（作品）

【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】





# 広報用画像申込書（作品）

## 記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

アーツ前橋 PR 担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○をつけてください。画像を保存するためのIDとPASSをメールにてお送りいたします。

\*画像の使用は本展覧会の広報を目的とする場合に限り、個人のブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

【1】	レフィーク・アナドル 《Living Paintings Immersive Editions: Artificial Realities: Winds of LA / Pacific Ocean / California Landscapes.》 撮影：Joshua White Courtesy of Jeffrey Deitch, New York and Los Angeles.
【2】	アンドリュー・ピンクリー 《Stone Cloud》
【3】	蜷川実花 《残照/Eternity in a Moment》 ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery
【4】	ザドック・ベン＝デイヴィッド 《People I Saw But Never Met》
【5】	WOW の展示予定作品
【6】	山口歴 《MÖBIUS NO. 17》 撮影：© 2021 浦野航気 © 2021 MEGURU YAMAGUCHI, GOLD WOOD ART WORKS
【7】	マームとジプシー 《Light house》 撮影：岡本尚文
【8】	武田鉄平 《絵画のための絵画 044》 所蔵：Yusaku Maezawa Collection, Chiba Japan

## 媒体情報 \*できるだけ詳しくご記入ください。

媒体名：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当名：
所在地： 〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	

- 展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展（事務局・アーツ前橋）  
学芸担当 高橋/庭山
- 取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144  
PR担当 酒井/石井 E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

●広報画像はこちらよりダウンロードください  
<https://www.artsmaebashi.jp/?cat=28>





## 広報用画像（アーティスト）

【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



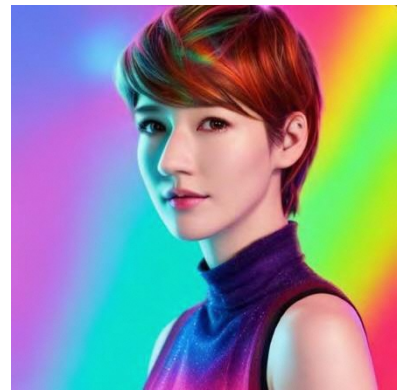
【7】



【8】



【9】





# 広報用画像（アーティスト）

## 記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

アーツ前橋 PR 担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○をつけてください。画像を保存するためのIDとPASSをメールにてお送りいたします。

\*画像の使用は本展覧会の広報を目的とする場合に限り、個人のブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

キャプション・クレジット等	
【1】	レフィーク・アナドル/Refik ANADOL
【2】	井田幸昌/IDA Yukimasa 撮影:@ogata_photo
【3】	川内理香子/KAWAUCHI Rikako 撮影:野村佐紀子
【4】	ザドック・ベン=デイヴィッド/Zadok BEN-DAVID 撮影:Celine Avrahami
【5】	蛭川実花/NINAGAWA Mika
【6】	山口歴/YAMAGUCHI Meguru ©ANDREW ACACIO, MEGURU YAMAGUCHI, GOLD WOOD ART WORKS
【7】	藤田貴大/FUJITA Takahiro 撮影:井上佐由紀
【8】	ハシグチリントロウ/HASHIGUCHI Lintalow 撮影:永田峻
【9】	スプツニ子!/Sputniko!

## 媒体情報 \*できるだけ詳しくご記入ください。

媒体名:	
発行日:	発行元:
貴社名:	
部署名:	担当名:
所在地: 〒	
TEL:	FAX:
E-MAIL:	

- 展覧会に関するお問い合わせ New Horizon 展（事務局・アーツ前橋）  
学芸担当 高橋/庭山
- 取材・掲載に関するお問い合わせ TEL:027-230-1144  
PR担当 酒井/石井 E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

- 広報画像はこちらよりダウンロードください  
<https://www.artsmaebashi.jp/?cat=28>

